

上じょう来らい念ねん誦じゆ諷ふ經ぎんする功く徳どくは

新しん歸き元げん

鎖さ龕がん起き龕がんのの為ためにに奉ささげげ報ほう地ちをを莊そう嚴ごんす
茶ちや毘ひ

十じつ方ぽう三さん世ぜ一いつ切さい諸の佛しよ諸ぶつ尊しよ菩そん薩ぼ摩さ訶つ薩ま

摩ま訶か般はん若に波や羅は蜜ら
蜜みつ